

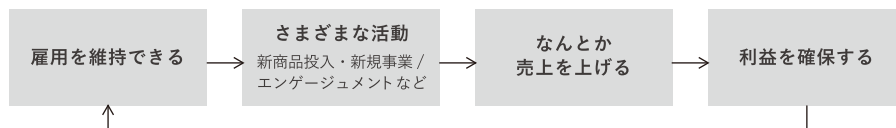
アフターコロナ・ウィズコロナ時代の 事業戦略と人事戦略

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の大流行は、ヒトとモノの流れを著しく鈍化させ、経済に深刻なダメージをもたらしており、今もなお世界中で混乱が続いています。このような社会情勢の中で、企業が存続し成長していくためには、今まで以上に全社を挙げて業績をつくっていく必要があります。そのために、人事は経営層と共に最前線に立つべき存在であり、あらためて“人事”が今何をすべきかを考え実行し、組織や社内の人材を守っていくことが求められています。

企業経営の基本原則を再徹底し、人事が 「生き残る組織と人材」を打ち出し、変革していく

過酷な状況であっても利益を生み出すことができなければ、組織の存続はありません。危機下においては、徹底的にコスト削減し、利益創出に集中させる組織に変革することが重要です。組織が変われば、自ずと必要とされるスキルも変わります。コロナ禍でも生き残る組織をつくるためには、人材一人ひとりの生産性を最大限に発揮できるように、“今”必要な能力・スキルを高めていかなければなりません。

■企業経営の基本原則



コロナ禍に打ち勝つ人材育成のポイント

01. 自ら判断し問題を解決できる「主体者」の育成

リモートワークにより管理者の目が行き届きにくい分、より具体的な成果を上げることが求められるようになりました。指示された業務を完結できることはもちろん、自ら問題を発見し、解決に向けて行動できる「主体者」の育成が不可欠となります。

03. 全社営業に必要な「インサイドセールス人材」の育成

少しでも多くの売上を捻出し、雇用を維持するためには、営業以外の従業員も積極的に営業活動を行う必要があります。WEBサイトの強化と同時に新規顧客開拓や案件化支援を目的としたインサイドセールススキルを養成することが急務となります。

02. ITを駆使し業務改善ができる「DX人材」の育成

リモートワークが普及した今、最低限のITリテラシーがなければ、仕事をすることはできません。また、この不況下においてコスト削減は必須であり、そのためには、より高度なIT・DXスキルが必要です。よって、全社員のITリテラシーの強化とIT専門家の内製化が重要となります。

04. 冷静に危機対応ができる「強いリーダー」の育成

リーダーが「リスク」と「恐怖」を混濁した結果、冷静かつ速やかな判断ができず、組織に深刻な損害を被る可能性があります。これからのリーダーには、OODAモデルに則りスピーディに危機対応し、問題解決するとともに、新たな未来に向けた組織づくりの推進が求められます。

6 人事が発信すべき つの強いメッセージ

コロナ禍前に立てた計画は
原則白紙化せよ

あらゆる部門でコストダウンを
徹底的に考え、実行せよ

あらゆる部門で直接的な
売上向上策を考え、実行せよ

最大限、できる限り雇用は守る

前例のない異動を大量に実施する

すべてを
スピード感をもって実行せよ



本内容をさらに詳しくお伝えします！
インソース エナジーフォーラム 2021
～アフターコロナ・ウィズコロナ時代の事業戦略と人事戦略

オンライン開催 参加費無料

インソース エナジーフォーラム



お問合せはこちら

✉ info_tokyo@insource.co.jp ☎ 0120-800-225